

陛下... 許しを請うる下...

「...」

「...」

「...」

「...」

それはまるで潮のようには産ませ溢れ出る白銀の舞...

「...」

こんな俺達でも幸せの扉が開けるのです。

思慮分別即OK

R18
成人向け

R18
専ら淫靡
複数の
挿入

R18
複数モブ
×
連続

禁城の地下の地下。

この場所は、戦後現在も本来の「地下としての機能」が働いており、いくつもの入り口、部屋が存在している。

捕虜や罪人の収容、尋問に拷問……

中でも国内最高位の許しのない限り、扉に触れる事さえも許されない「特別な部屋」が存在していた。

国内最高位の許し。すなわち、

その部屋への「鍵」は、
煌帝国で最も高い権力を
持つ者が厳重に保管、管理しており

まさしくは現皇帝、練白龍の
手元にあるものであった。



常に気高く

皇帝陛下は

峻烈さと勇猛さを
兼ねそなえ

託されたものを守り、
皆を正しく
導かなければならない

皇帝に就任して間もなく
国際同盟による
金属器回収の噂が流れ出した頃。

少将 陛下に
何の噂か

ほんと
身震い

以前、金属器の力で集めた兵士達への
洗脳魔法を解いたのが事の始まりだった

乱暴に弄くった脳だ。
戦後、直ぐに魔法を解くのは危険と
判断した俺は、彼らの身を案じ、
暫くの間、彼らを然るべき場所へ
収容していたが、魔法を解くには
そろそろ頃合いも良かった。

陛下、
どうなされますか

陛下の前で…その、
下を出してくるなぞ…
破廉恥極まりない

しかし……

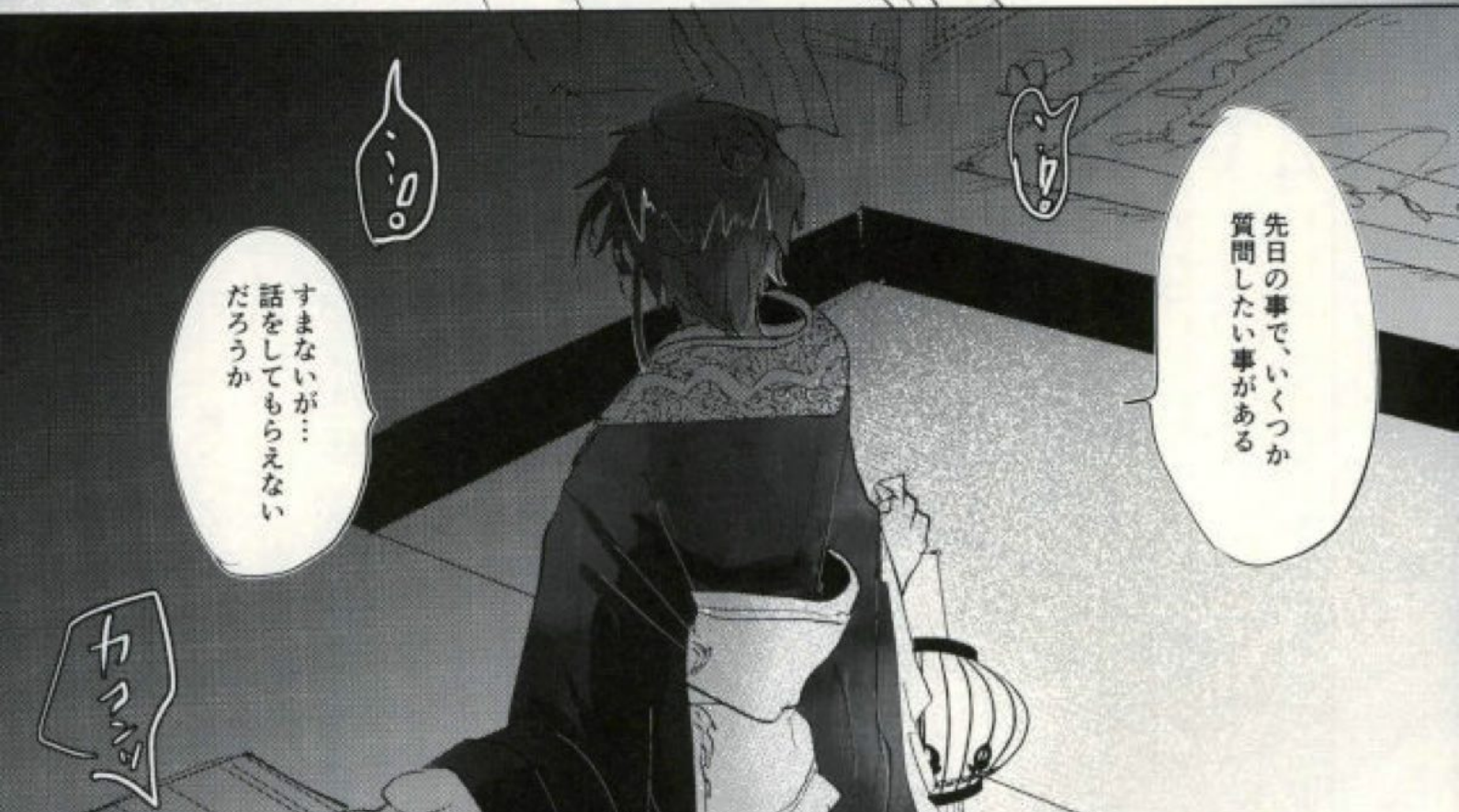
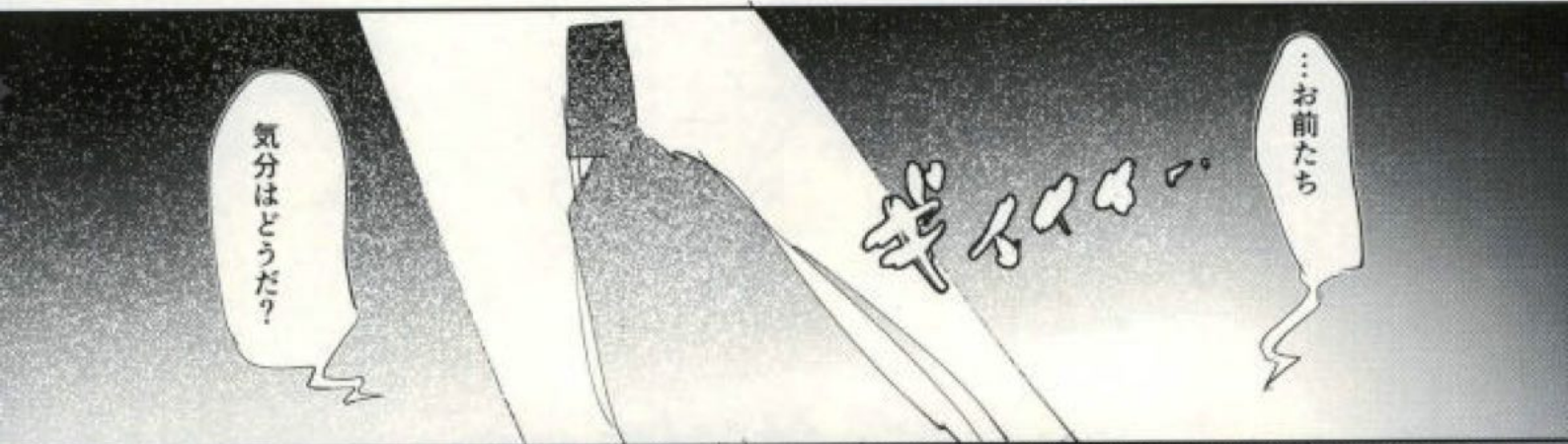
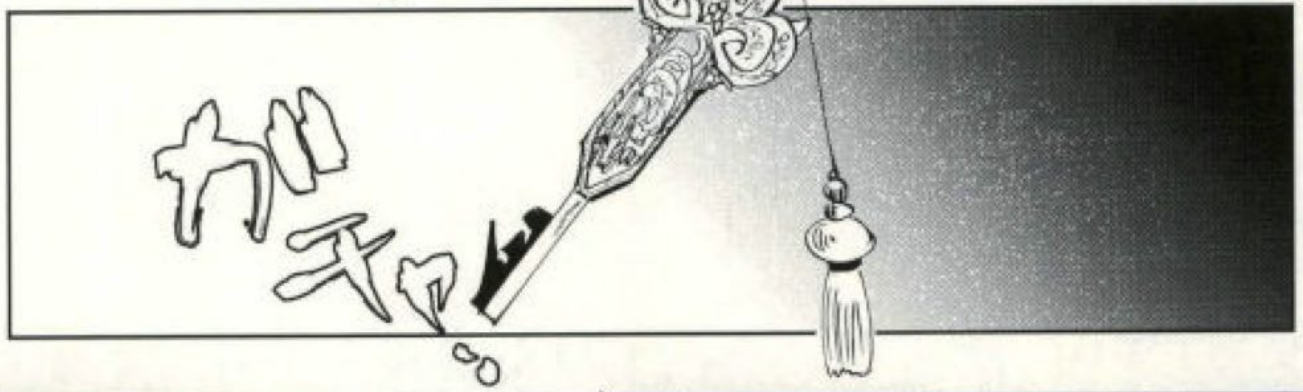
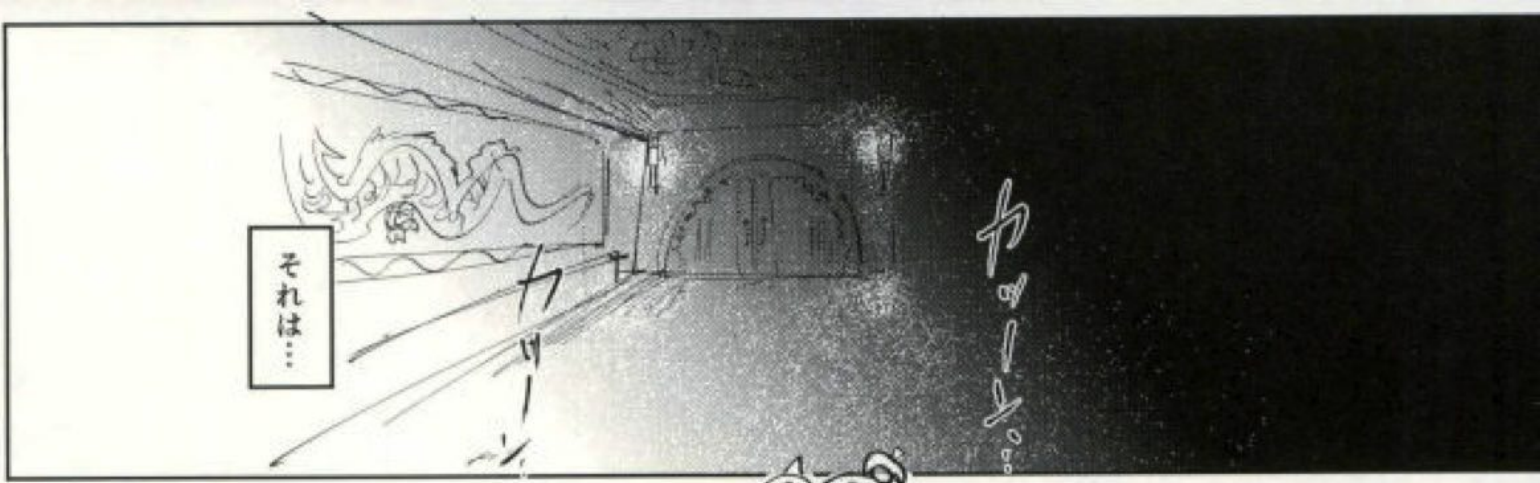
処して解決
せねばなりません
なんなりと
お申し付け下され

金属器の力は非常に未知なるもので

いや、いい。
例の…地下にでも
閉じ込めておく。

少し気になる事が
あるんだ

それを施した兵士に…
……妙な、後遺症…のようなものが
残ってしまったのである。



部屋がやけに暗いな
灯りは好きに付けて
良いと言ったはずなんだが…

白龍様、お一人で
来られたのですか？

あ、ああ…
ここは俺以外の者が簡単に
入れる場所ではないから…

そうなんで
すね。

じゃあ良いですよ
どうぞどうぞ
何でも聞いて下さい

…貴様ら、誰に向かって
口を利いている？

仮にも現皇帝への、
その態度…

到底見逃せる
ものでは…

色々と慎むのは
白龍様の方では
ないですか？

あゝあゝ…
責任取って
下さいよオ…



白龍様は酷いお方だ… 私達の心を踏みにじった上に無理やりに働かせ… 人生はめっちゃくちやだ…

しかも何なんですかこれ
こんな…私達に、
一体何をしたのですか?!

俺ら…目が覚めてから

白龍様に…対する…
煩惱…が…止まらないん
ですうううう…

すっ…



そうだ…

…確かに以前、俺はこの兵士達の清らかな志と人生を奪った。

だが、それでも、あれは必要な事だった!

しかし…

これは俺の

不始末なのではないか?

思考が追いつかないが、タイムミングを見てどう考えても魔法の後遺症じゃないか
先日の妙な行動も頷ける…

…ところで、

俺はまた
義務を放棄するののか?

そんな事、あってはならない!

この兵士たちも、煙の国民であり、この先共に国を支え歩む者たちだ…

しかし、では…いや、折角回復を見込めた脳に、再度洗脳を施す事は出来ない…危険過ぎる…

だ、だがしかし…う…ど、どうすれば…?!

白龍様…い
陛下。

ご決断



俺、まだ...
夜伽の経験なんて...
まっさら無いぞ...?!

わわ、わかった...

はー
ぽち
ぽち

ぽち
ぽち
ぽち



はー

抱かれない者から順番にんぎゅっ

オラッ



では...

とりあえず

流れ作業だ
これは流れ作業...



さっ！
冠もちゃんと
かぶって、誠意を見せて
いきましょ！

め
ぢぢぢ

そうだ…

そうです。そしてこれは、
貴方様にとって、またと無い
チャンスなのです！

ねっ陛下…！！

俺は、
また…？

陛下が私共の希望を
いっつぱい
聞いてくれたら…
ッへへ…

こんな私共でも
幸せの扉が
開けるのです

そう！

その通り！

白龍帝万歳！

こころ…

白龍帝万歳！

白龍帝

では、けじめの第一歩……
いつものように
自分で試してみてください

もちろん私達に
よく見えるように
ですよ？

皇帝陛下なら、その程度の事
造作もないですよね！

ワウ、白龍様の……
……秘め事……かあ
想像するだけで
射撃しそうだ……

アア……見せて
くれないと……
俺たち……ッ

ブーッ
ブーッ
ブーッ

わっわわわわわ、
わかったから泣きわめくな！



そうじゃない
でしょう



っはっはっは！
傑作傑作。

おおお...

おおお...

皆の者！
陛下に拍手を！

さすが煌皇帝の血筋。
それはまるで潮のように生産され
溢れ出る白銀の舞...!!

あーあーあー...

ほほほ

おほおほ

おほおほ

あーあーあー...



あつ…俺…キ、キス…
男と…してる…のか…
気色が悪い…汚物…の…

白龍様…がまん
できませぬ…!!



陛下は
こゝんな顔して

俺的には…
面倒見がよくみえる
ママ…ッ?

陛下の接吻…!
こうして見ると
大変庄巻ですな…!

いっやうく白龍帝
めっちゃ素質ありますね

思ったより
ノリが良いですし…

俺らの仲間もっ、
あの御方も…
みーんな殺し
ちまってるんだ

お前こんな皇帝に
バブみ感じてんじ
ないよ!

それにしても
酷い有様だ。

妻まじい体力だ…
頸が発達しているのか？

いや…
そりゃあ飯にも
金属器使いだし…

半数は壊滅…
しかし、目標は
なおも動けるとは…

贅沢な服も
あんなに汚して、
皇帝に有るまじき姿…
何と、はしたない事か…

お見事な
見世物で
ございました

皇帝陛下…

是非、
あなた様の「腎部の穴」から
誠意を見せて
いただきたく存じます…

ですが、我々の気は
この程度で収まるほど
ちっぽけなものでは
ありません



妙な気分が抜けきらない





ふんっ…

…おっ…おお…

おおおお…！
すっ…素晴らしい…

滅茶苦茶キツいののに、
入り口が急かすように
吸い付いてくる…！

陛下っ…あッ…
…白龍様っ…！

あッ…

あッ…

あッ…

陛下の処女ケツマ●コが
俺たちを求めているかのように
肉壁がいやらしくヒクン…ヒクン…
って言ってるんですよ、
もはやこれって
運命なんじゃないんですかね。

陛下…

陛下…

陛下…
許しを請うて下さい

アッ

だが…お前たちは、
かつて、俺が抱いた怒りの…
そう…俺の、一部でもあるんだ。

お前たちの治療法もすぐに見つけると約束しよう。
それまでは…俺が、
面倒を見てやるから、だから…

ちょっと
ちょっと
陛下

許してくれなどと
言うつもりはない

俺は…

陛下ったら、
そうじゃないですよー！



俺たちは、シリアスな方じゃなくて
「陛下への煩惱が」
止まらないんですよ？
最初に言ったじゃないですかー

ア

あああああ
あああああ
あああああ

オラオラオラー！！



ちんどりゃー！！



許しとは！例えは！

「俺の中、ちんぽで
いっぱいグッチャ
グチャにかき回して
犯してください♡」

とか！

「俺の処女アナルの
中にいっぱいぶっとい
ちんぽ精液で
種付けしまくって
ほしいです♡」

とか！だろーがー
俺らにも分かりやすく言えやー



おい！俺！
陛下が脱肛女
達成したぞー！



陛下は俺らを
救う気は
あるのですか！

おろろ
おろろ
おろろ

陛下！

おろろ
おろろ
おろろ

おかしなのは最初から分かっていた。
なのに…気がついたら、話に流されて…
こんなの…さっさと、やめさせて…
黙らせてしまえば良かったんだ…



なんて…っ俺はっ
はしたないんだ…！
…犯され…言葉で罵られ、
笑えるほどに快感がめぐる

おおお
おおお
おおお

おおお
おおお
おおお

なのになのになのにな



一度、俺の支配下にお
擬似的に彼らは俺の
いたのかもしれない

ぱ
ぱ
ぱ
自由を奪い…
怒りを最大限に放出させた所為で…
性欲…が、暴走…
…ベリアルについて、
もっと調べる必要があるそうだ…



皆の者！陛下が尻でっ
けじめをっ……！
けじめを付けたぞ！

遅い……

もう……もう……

尻でおいきに
なったぞ！



陛下アアアア！
俺達の気持ちですッ
っんおおま

受け取ってくださいあい！



だっ……だめ、いまだめ、やめっあ……あ、あああ、ああ頭おおかしくなるっやだ

ちんぽおっああ……あ、ああ
気持ちいい、気持ちいい

ふああああ！
メスイキしたての
陛下のアナルウウウウ



陛下が俺...

あは...あ、あは...あ、あは...

...あ...?

陛下が俺たちのキモチを
受け取ったぞー！

あは...あ、あは...あ、あは...

...あ...
す...すき... はは...
も、も...♡

陛下の...

陛下が俺たちの...

は...
...うけとり...まひたあ...

陛下の...